めいろうこどもえん　9月園だより

２０１５年度　年主題〈『平和』をつくる〉

0･1･2歳児９月主題　「みて、みて！」

月のねがい

◎保育者や友だちと共に体を動かす喜びを感じる
◎自分の思いを伝える
◎季節の移り変わりを感じ、身近な自然と出会う

3･4･5歳児９月主題　「きもちがいい」

月のねがい

◎友だちと共にいることを喜び、体を動かすことを楽しむ
◎季節の移り変わりを感じ、身近な自然とふれあう
◎夢中になって遊びこむ中で、探索や発見、試行錯誤する

今月の聖句　「ともはどんな時にも愛するものだ」　箴言17:17

①友情物語　ダビデとヨナタンの友情は知る人ぞ知る実話です。(サムエル記上20章) 彼らは互いのためには自分の命さえも差し出す覚悟の友情でした。互いに信頼し合い、助け合いました。これに反して、夏目漱石の小説「こころ」では、同じ女性を好きになった二人の大学生。「友人として、君に言いたい。大学は勉学第一。女にうつつを抜かす場ではない。」といって、友人を自殺に追い込み、その女を奪う筋書きで何とも後味悪い作品。
②どんなときでも愛する（大切にする）ものだ　利用価値があるから、助けてくれるから、頼りになるから、気が合うからなどの理由で友情を考えるのは間違いでしょう。真の友情は「どんな時」でも大事にしあうことが肝要です。イエスはいわれました。「友のためにその命を捨てること、これより大きな愛はない。」(ヨハネ福音書15章) と教えました。そして、自らは人類の罪の身代わりとなって十字架に死にました。
①友情は幼児期の人間関係から　こども園では、園生活の中でいろいろな人と出会い、経験します。喧嘩もします。そのような体験から真の友情が生まれ、神様がその友情を守ってくださいます。

前理事長　池田公榮

９月の行事予定

１日（火）	始園式（1号:午前保育）
３日（木）	８・９月誕生会
９日（水）	実りの秋パーティー
２５日（金）	運動会予行練習

１０月の行事予定

３日（土）	運動会
４日（日）	運動会予備日
５日（月）	運動会振替休日（1号）
未定	いもほり
１１日（日）	市民体育祭参加（年中長児）
１５日（木）	遠足
２０日（火）	10･11月誕生会
２４日（土）	ふれあい運動会（未就園児）
２７日（火）	すもう大会（年長・年中）
２８日（水）	〃（2・3歳児）
２９日（木）	交通安全教室（年長児）

～秋の大運動会～

利用料見直しのお知らせ

現在の利用料額は，H25.1~12 期の所得額によって算定されております。H26.1~12 期の市民税額における階層の変動に伴い，市による利用料の見直しが行われます。９月分より保育料が変更になる世帯もあります。**該当される方には**，変更通知書を配布致しますのでご確認下さい。

なお，利用料についての質問等は**市福祉事務所・子育て支援係**へお願いします。

～実りの秋パーティー～

早寝・早起き・朝ごはん…そして！睡眠!!

夏休みはいかがお過ごしだったでしょうか？梅雨とは打って変わって、毎日良い天気！夏期保育で見た子どもたちの色の黒さがその象徴でした。

さて、職員にとって夏休みはいろいろな研修に参加し、自分の知識を深めるための充電期間でもあります。今年は、県内全ての私立幼稚園が参加する研修大会で、「自園の特色を活かした保育と行事」というテーマで発表をする大役が与えられました。普段取り組んでいる保育や行事を振り返り、研究を重ね文章にし、資料にまとめることは思っていた以上に困難でした。でも、何にも変えられない充実感と、自園の保育を見つめ直す良い機会となりました。

また、「学校における心の問題」という研修会も印象的でした。今、不登校で学校に通えない子どもが増えており、その主な原因の1つに“生活リズムの乱れ”があるとのことでした。それらの蓄積が不登校につながっているのでは…というお話で、幼児期の睡眠・生活リズム・生体リズムが後々に大きく影響するということです。私が興味を持ったのは、子どもの眠りは大人の眠りと比較できないほど重要であるということです。眠りは、単に体を休めるためのものではなく、脳にたまる老廃物を除去したり、脳の働きを保つ（守る）ために眠るのだそうです。つい、大人の生活のリズムに合わせてしまいがちですが、何年後、何十年後先の子どもの成長を見据えて生活をすることがとても大事だと改めて感じました。

以前、嗜好調査をさせていただきましたが、就寝時間が遅いお子さんがいたり、朝の食事が一品のみという事例もありました。給食等においては、園でできる限りの取り組みをしていきますが、どうぞ子どもたちの健康なからだ作りに、ご家庭でのご協力を宜しくお願いします。

森山

～稲刈り～

～そうめん流し～

もち担ぎ体験☆

～かけっこ～

エネルギッシュに弾もう！二学期

台風と酷暑の続いた今年の八月。皆様、如何お過ごしでしたでしょうか。お忙しい中にあっても、それぞれにご家族で楽しい時間を満喫されたかと思います。

この時期、海や山など自然の中で過ごされたご家庭もおありだったかと思います。太陽の光を浴び、水や砂の感触を味わう。森の中で木々の香りやせせらぎの音を楽しむ。親子でその喜びに浸ることは何と素晴らしいことでしょう。「センス・オブ・ワンダー」で著者レイチェル・カーソンはこう書いています。「私たちが住んでいる世界のよろこび、感激、神秘などを子どもと一緒に再発見し、感動を分かち合ってくれる大人が、少なくとも一人、そばにいる必要があります。」と。子どもたちに関わる大人のひとりとして身が引き締まります。様々な体験をとおして、キラキラ輝く感性が豊かにあふれる幼児期こそ、本当に必要な経験と環境を与えたいものです。

昨今、家庭においても教育の世界においても、何かが「できる」ことが、発達の証のように捉えられる傾向があるように感じられます。また、情緒的な面でも、教えることによって思いやりなどを育てようとする向きもあります。すべて子どもの幸せを思ってのことなのですが、本質的な発達の姿を見誤ると、生まれながらにして備わった感性を奪うことにもなりかねません。本来、「発達」とは、自ら生きることへの意欲の現れであり、日々育ちゆく過程そのものではないでしょうか。まさに「あそび」中でも「心の発達」は、外部からの情報より内側からの振動が育てるものだと思います。時として、我々保育者も「結果」や「達成」に重きを置いてしまうことがあります。そのことも確かに大切なことではありますが、子どもの心に起こっていることや育とうとしていることに気づくことを幼児期にはより大切にしていきたいと考えています。二学期は運動会からクリスマス会まで様々な行事や活動が計画されています。子どもたちが遊びの世界を広げながら、「やるべきこと」と「やりたいこと」を自分の中に受け入れられるよう励ましていきたいと思います。

さて、本学園ではめいろうこども園敷地内に子育て支援や地域交流、体験活動等に使用する拠点施設の建設を準備しております。今後、工事でご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、ご理解のほどよろしくお願いします。まだまだ残暑が厳しい毎日ですが、朝夕は何となく秋の気配を感じるようになりました。そろそろ夏の疲れも出てくる頃です。早寝・早起き・朝ごはん・朝ウンチで、親子共々元気でいきましょう。保護者の方々には夏祭り・おやぢ保育と、多くのご協力をありがとうございました。二学期も引き続きご協力をお願い致します。

園長

抱きぐせはよい？悪い？

山口　創　著

抱っこについては、今でも「抱きぐせ」がつくからよくないものとの考えが残っているようです。

あなたはあなたの母親に「抱きぐせをつけちゃダメ」といわれたことはありませんか？あなたの母親もその母親に同じことをいわれてきていたのではないでしょうか？

子どもの要求のままに抱っこをしていると、抱っこをますますせがまれるようになる。抱っこがくせになると子どもが親離れできなくなり、自立も遅れる。これが「抱きぐせがつくとよくない」の主な理由といえるでしょう。

でも、これは誤った考えです。

そもそも「くせ」という言葉にも問題があります。一般的に「くせ」とは悪い習慣を指す場合が多く、「だから直さなくてはいけない」といった発想につながってしまいます。

子どもが「抱っこされたい」と思うのは本能的な欲求ですし、それを求めるのも生得的（生まれつき）ともいえるものです。「くせ」と呼ばれるような悪いものではなく、むしろそれは正常な発達なのですから、「抱っこされたい」という欲求はできるだけ満たしてあげることが大事です。

抱っこに関しては、抱きぐせがつくことよりもむしろ、小さいころに抱かれ足りなかったことから起こる将来的な心の問題のほうがずっと深刻です。

乳幼児のときにたっぷりとスキンシップをとり、抱っこをたくさんしてあげたほうが心は満たされ、かえって子どもの自立を早めます。研究からも、親とのスキンシップが多い子は、子どもを依存的にするどころか、子どもが依存的になることを防ぐことがわかっています。

「抱っこ、抱っこ」とせがんでくるのは、ほんの一時期のことです。不思議なことに、ある年代に達すると求めてこなくなります。

もちろん、いくつになっても不安になったとき、ストレスがあったりするときは膝に乗ってきたりということはありますが、ずっと抱っこされていたいと思う時期は、本当にごくわずかな時期なのです。

その短い期間、たっぷりと抱っこして甘えさせて、子どもの心をできるだけ満足させるほうが、子どもの将来にははるかによいのです。

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

9月園だより

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

9月園だより

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん

めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん めいろうこどもえん